

## 組合関係の会議と催事

[2026年2月]

2日(月)～27日(金)

(輸出入/WEB) **「第6回 繊維入門セミナー」**

(動画提供及び講師：(一財)ボーケン品質評価機構)

輸入組合・輸出組合・(一社)テキスタイル倶楽部共催で開催し、2講義のオンデマンド配信を行い、組合員企業より約19社136名の申し込みがあった。

(1) 人権を尊重した企業活動とは?～社会的責任(CSR) 監査の視点から～

／講師：吉居尚子氏

(2) 子ども向け製品の安全性を事前チェック 実践編

～ポイントを押さえて、法改正にも対応できるモノづくりをしましょう～

／講師：神原芳美氏

2日(月)

(輸出入/WEB) 日本繊維産業連盟による「環境・安全問題委員会・循環経済推進WG」がWEBで開催され事務局が出席した。

①欧州でのESPR、DPPを巡る動きの現状の動向、②標準化事業の取り組み動向、繊維製品の環境配慮設計、トレーサビリティに関する標準化、③サーキュラーパートナーズ(CP`s)の現状の動向、④繊維to繊維資源循環構築コンソーシアム(CFT2)の概要、⑤欧州・CIRPASS IIの動向についての報告ならびに日本の繊維産業の競争力維持しつつ循環経済を推進していくための課題抽出と今後の対応等について議論が行なわれた。

3日(火)

(輸出入/東京) 東京都港湾局ほか主催による「東京港のつどい」に川合ロジスティクス委員長および事務局が参加した。東京都からは、「Tokyo Container Vision2050」が示され、世界最先端のコンテナターミナルへとバージョンアップすることでコンテナターミナルのDX・脱炭素化を推進していくとの説明があった。また、令和8年度の主な取組である、コンテナターミナルの機能強化、港湾物流の効率化、コンテナ搬出入予約制の推進、DXの推進、東京港の脱炭素化の推進などについて説明があった。

16日(月)

(輸入/大阪) **「第133回ホームテキスタイル委員会」**

下記の概要にて、審議が行われた。

議題：(1)じゅうたん類の2026年輸入見込み策定

(2)『インテリアファブリックス人材育成基礎講座』(オンデマンド配信)

の活用について

- (3) ホームテキスタイル委員会の来年度以降の事業について
- (4) その他（情報交換）
  - ①一般社団法人日本寝具寝装品協会(JBA)のヘルスケア事業部会の基準作成の動向
  - ②『認定取消実習実施者と組合員企業の取引状況及び当組合の取組について』
  - ③日バングラデシュ EPA 大筋合意内容
  - ④その他
- (5) 正副委員長交代について

18日（水）

（輸入/東京）高橋公認会計士による 2025 年度上期分の会計監査が行われた。

20日（金）

（輸出/大阪）**「2025 年度第 1 回 漁網・漁網糸委員会」**

下記の議題について、審議が行われた。

- 議題：(1) 2026 年度の輸出見通し策定について  
(2) 2026 年度の事業計画について  
(3) その他（情報交換）

24日（火）

（輸出入/大阪）**「2025 年度第 1 回原料・資材委員会（輸出組合）」及び「2025 年度第 1 回織・編物委員会（輸出組合）」並びに「第 28 回 繊維資材委員会（輸入組合）」合同委員会** <オンライン開催>

下記の概要にて、講演及び審議が行われた。

議題：<13:30-13:55 オンライン開催>

- (1)原料・糸織物主要品目の 2026 年輸出見通し策定 <<輸出議題>>
- (2)織・編物主要品目の 2026 年輸出見通し策定 <<輸出議題>>
- (3)糸・織物主要品目の 2026 年輸入見通し策定 <<輸入議題>>
- (4)その他情報交換

<14:00-14:45 ライブ配信>

- (5)講演：「中国『反外国制裁法』と『実施規定』の要点と日本企業の留意点」

講師：金杜法律事務所 劉 新宇 弁護士

申込者計：17 社 54 名

25日（水）

（輸出入/東京）**「品目分類基礎講座（第 11 部・繊維製品等）～悩ましい分類の考え方について～」<会場集合形式+ライブ配信>**

輸入組合・輸出組合共催により、18 社 88 名の申込者を得て開催した。

講 師：石丸 朱 氏（国際貿易コンサルタント、元東京税関）

時 間：14 時～16 時

会 場：日本繊維輸入組合 東京本部事務所 4 階会議室

研修内容：東京税関に長年在職され、在職中は全国の税関職員の育成にも従事された国際貿易コンサルタントの石丸朱氏をお招きし、衣類をはじめとした品目分類の基礎を、サンプルを用いながら分かりやすく解説いただいた。

- ・品目分類を理解するためには（関税の歴史、関税分類表の国際的統一の動き、BTN（CCCN）と HS）
- ・HS コードの検討・決定（関税率表の解釈に関する通則、基本ルール、物品の把握、HS コードの決定に必要な情報）
- ・繊維・衣類の HS 品目表の構成イメージ、衣類の分類構成
- ・具体的品目の考え方（コート、T シャツ、ブラトップ、積層・塗布した衣類など）

27 日（金）

（輸出入/WEB）日本繊維産業連盟「第 157 回通商問題委員会」に川合ロジスティクス委員長および事務局が出席した。①日本の繊維貿易の現況について、②各国との EPA 交渉状況について情報共有が行われた。